「中札内村まちづくり計画」策定に向けた村民ワークショップ

未来のむらを語る座談会 まとめ

1. ワークショップの目的

次期「まちづくり計画 後期基本計画」「男女共同参画推進計画」を策定するにあたり、村民の皆様のご 意見やアイデア等を伺い、計画策定の参考資料とさせていただくため、ワークショップを開催しました。

今回のワークショップは、いただいたご意見等を計画策定のために活用するだけでなく、今後の中札内村のまちづくりについて考えていただく機会として、また、中札内村「愛」とまちづくりへの関心をさらに高めていただくことも目的としています。

2. ワークショップ実施の概要

【実施日時・場所】

	日付	時間	場所
未来のむらを語る座談会	令和7年	19:00~20:45	農村環境
	2月27日(木)		改善センター

【実施テーマ】

未来のむらを語る座談会	1月11十寸 レショフナ はに 以西ナット	
検討・議論テーマ	望む未来と創るために必要なこと	

【参加メンバー】

未来のむらを語る座談会参加メンバー		
【村民】12人(申込13人)	【庁内若手職員】10人	

3. 参加者の募集方法

今回のワークショップは、以下の方法で村民の参加者の募集を行いました。

・無作為抽出による参加者の選出

住民基本台帳から無作為に抽出された村民 300 人に案内を送付。うち応募のあった 12 人の方に参加いただきました。

未来のむらを語る座談会 まとめ

望む未来と創るために必要なこと

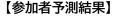
1. アンケート調査結果を予測しよう

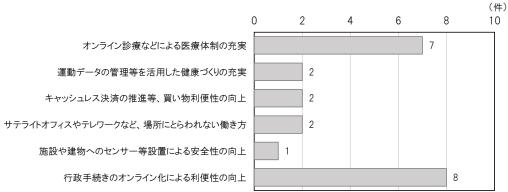
アンケート調査結果を予測することで、新しい取り組み等の検討材料にしていただきました。

~ むらづくりアンケート | 位の項目を予測 ~

今後、デジタル技術の進化が進むことによってどんな変化を期待しますか。(○は3つまで)

- 1. オンライン診療などによる医療体制の充実
- 2. 運動データの管理等を活用した健康づくりの充実
- 3. キャッシュレス決済の推進等、買い物利便性の向上
- 4. サテライトオフィスやテレワークなど、場所にとらわれない働き方
- 5. 施設や建物へのセンサー等設置による安全性の向上
- 行政手続きのオンライン化による利便性の向上(★ I 位)





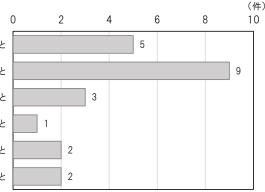
~ 男女共同参画推進アンケート I位の項目を予測 ~

あらゆる分野で男女共同参画社会を実現するために、どのようにすることが必要だと思いますか。(複数選択)

- Ⅰ. 性別に関係なくすべての人が社会や組織の一員であるという認識をもつこと(★Ⅰ位)
- 2. 家事や育児、介護などについて家族で話し合い、分担して行うこと
- 3. 男女がともに能力を発揮し、意見を反映させることができる環境にすること
- 4. これまで性別に偏りのあった分野(職業等)について偏りを是正すること
- 5. 仕事と家庭生活のバランスがとれた生き方をすること
- 6. 男女共同参画について学習し、意識を向上させること

【参加者予測結果】

性別に関係なくすべての人が社会や組織の一員であるという認識をもつこと 家事や育児、介護などについて家族で話し合い、分担して行うこと 男女がともに能力を発揮し、意見を反映させることができる環境にすること これまで性別に偏りのあった分野(職業等)について偏りを是正すること 仕事と家庭生活のパランスがとれた生き方をすること 男女共同参画について学習し、意識を向上させること



2. ワークショップ検討の視点

「中札内村まちづくり計画」および「中札内男女共同参画推進計画」の計画策定に向け、まちづくりの視点または男女共同参画の視点で、村に必要な取組について考えていただきました。

まちづくりの視点	男女共同参画の視点
アンケート結果	アンケート結果
◎現在取り組んでいる施策の重要度・満足度	◎現在村に暮らしている方の男女共同参画に対す
◎今後進めていくべき取組	る考え
◎まちづくりへの提案やアイデア	◎男女共同参画を進めるために望むこと
↓これらの情報を基に↓	↓これらの情報を基に↓

より良い中札内村になっていくため、望む未来を創るために、必要だと思うことを検討

アンケート結果を参考にしつつ、今の中札 内村の取組をどう改善していくか、新たな 取組として何が必要か考えてみてくださ い!



男女を取り巻く現状を踏まえつつ、これからの中札内村において、誰もが活躍できる環境となるために必要となる取組を考えてみてください!

「望む未来と創るために必要なこと」チームごと意見まとめ・発表内容

【チーム1】

- ●まちづくりと男女を考える時にボーダーはない
- ●住居は非常に重要なキーポイント
- ⇒シェアハウスなど目的別にあれば、それぞれの特技を持った人たちが集まるのではないか。
- ●子どもたちの安全確保
- ⇒安全を確保する一環として防災訓練も大事。
- ●免許返納者の移動手段
- ⇒くるくる号に変わるオンデマンドの交通システムが必要。
- ●フリースペースの活用
- ⇒子どもたちが集まるような場所として活用できたらいい。
- ●男女の家事分担
- ⇒男女の家事分担が当たり前になって、家庭ごとにポイント取得できるようにして、家事分担が成功して る家庭のポイントが高くなるようなゲーム性がある取組も良い。

●まちづくりの重要課題

⇒メインストリートの活性化や交通手段の充実、冬の観光資源がない。これら3つが重要課題としてあが り、SNSの発信や活用をすることで、村の認知度向上でまちづくりにつながる。

●村の農産物の現状を発信

⇒村で作ったものが村に出回らない。また廃棄が多い現状をSNSで発信することでフードロスにも繋がる。

●保育施設の充実

⇒保育園を大きくしてほしい、人材を増やしてほしいという声があるが、なかなか難しいので、地域の方 たちが行政区にある会館などを利用して、気軽に預かってもらえる、地域の人たち同士の交流、連携に よる預けやすい場所が出来ればよい。

【チーム3】

●まちづくりの重要課題

⇒観光 PR、移住者を増やす、移動手段が自家用車メインの不便さの3点。住民が情報発信をすることで、 移住の促進を図れたり、観光にもつながる。色んな人が色んな声を挙げることが大切。

●まちづくりへの意見を出す場の重要性

⇒もっと多くの人に空き家を活かしていこうなどの意見を出してもらえる場を設けることが大事。

●男女共同参画の理解を深める

⇒世代ごとで理解の違いもあると思うので、世代ごとに集まって、男女共同参画の理解を深めるワークショップを増やすと、もっと理解が深まっていく。

●育休を取りやすい環境づくり

⇒男性だけではなく、女性も含めて育休を取りやすいようにするために、育休促進に向けて村から企業への助成等の働きかけを行う。そうすることで、経営者が休ませやすい職場環境が整う。男女共同の理解が深まれば村の良さが上がって、そこから様々なところに繋がっていく。

【チーム4】

●住みやすくて不満はない。

⇒不満はないが、空き家と中央公園の活用ができないか。例えば、食のイベントやモルック大会など。村をサイクリングしてもらい景観を楽しみながらフォトコンテストを開催するのも良い。食イベント TTE-1(卵・鶏肉・枝豆)グランプリを開催して食のPRができないか。

●男女共同参画に必要なのは意識の向上

⇒女性だけでなく、育児中の父母の働き方なども課題としてあるが、具体的な取り組みより、一人ひとり の意識を向上させることが大事。多くの人が参加できる意見交換の場を設けたり、男女共同参画に対す る講座への参加を促すなど。

【まちづくりの視点】

子どもたちの安全(通学路・放課後・公園)

災害対策

自然環境の維持

防災訓練の実施

未来に投資する(すぐにリターンを求めない)

商店街の活性化

やりたい人がキッチンスタジオで出店

子育て世帯の負担減・支援

【男女共同参画の視点】

家族での思いやり

家庭内の家事分担でできたことをポイントにて競う

地域交流の場を増やす 共に学び共有する

夫婦でデートする場所

働ける場所がある

多世代交流

重要な項目

中期滞在型のリモートワーカー家族を受け入れる環 境整備

シェアハウス

シェルター

住居 (バリアフリー・室温 (熱中症予防)・清潔さ)

くるくる号に代わるオンデマンド交通システム

高齢者の移動手段・支援

めちゃくちゃフラッと寄れるところ

若い世代のイベント参加

室内遊び場

フリースペースの有効活用できる雰囲気づくり

若い世代への教育を最優先トライさせる

共通項目

困っていることが相談しやすい (行政・近所付きあい・ 家族)

共有で使える特化スペース

【まちづくりの視点】

美しい村づくりの維持・継続

中央公園の活用

健康づくり(健康ポイント)の充実

ずっと住み続けるための制度サービスの充実

村のSNSの強化

外部を受け入れる

交通手段の充実

農村地区への街灯設置

助成金などのわかりやすい情報発信

歩道の除雪をもっときれいにしてほしい

道の駅以外の観光地(特に冬季)

メイン道路(国道)の活性化

高齢者福祉施設

ケアマネジャー増員、保健師増員

子育て世代、高齢者へのサポート等はあるが、中間

層へのサポートもほしい

村の特色をもっと前面に押し出す

美しい村にしていくための雑草等の管理

くるくる号の活用方法として、帯広空港等への送迎

生協跡地の利用 (帯広駅のフードバレーのような催し)

【重要項目】

交通手段の充実

冬の観光資源

【住民ができること】

SNSの発信・活用

【男女共同参画の視点】

村で働く場所を増やす

男性育休の周知

保育園の預けられる年齢・人数の改善

職種による差を可能な限り減らす

学童保育所の受け入れ可能年齢を広げる

村がどのような取組をしているのかの PR・情報発信

職場環境の改善

家事・育児介護の分担

【重要項目】

子どもの保育施設の充実

【住民ができること】

地域の人たち同士の交流・連携

【まちづくりの視点】

アドベンチャーツーリズムの促進

日高山脈の低山トレッキングコースづくり

インバウンドの宿泊・食事・場所を増やす

インバウンドの受入促進

道の駅の活用

リピーターの観光客を増やす

観光 PR

英語で対応できる人の育成

国立公園の利活用

交通網の整備

空き家・店舗の活用 空き家ゼロ

住む場所

移住者増やす

中札内で一日楽しめる

公共施設の有効活用→様々な用途

農業の新規参入者の受け入れ

起業サポート

外国人材の受け入れサポート

【重要項目】

移住者を増やす施策

観光インバウンド (日高山脈の活用)

【住民ができること】

村の良さを情報発信

多くの人に村に対する意見を出す場に参加してもら う

【男女共同参画の視点】

家庭内での話し合いを進める

家庭での役割分担の促進

適村適所(各々の役割分担)

LGBTQ への理解

理解度を高める

男性・女性が尊重し合える

子育てママが活躍できる

男性育休率 80%以上

男性が育休を取りやすい村 No.1

【重要項目】

家庭内での理解

子育てママの活躍

男性の育休(女性ももちろん)

【住民ができること】

世代ごとのワークショップ

育休促進に向けた企業への村からの助成創設への働 きかけ

共通項目

待機児童ゼロ

若年層が憧れる村

幸福度 No.1 の村

すべての世代が生活しやすい

行政手続きのオンライン化

イベント情報の一本化

日常的に人が集まる場所

若い世代のつながり

安心な医療

年少からのお米持参止めて

【まちづくりの視点】

農業に携わる人材の確保(担い手確保など)

長期的な視点

関係人口の増加

景観を守る

大学生の空き家の活用

往診を受けやすいようにする制度の設立

料理コンテストの開催(枝豆・卵)

空き家の解体

中央公園の活用について

交通利便性を向上

【重要項目】

食の PR

モルックの聖地

【住民ができること】

サイクリングしながらフォトコンテストの開催 TTE-1 グランプリ 卵・鶏肉・枝豆を使った料理コンテスト

「枝豆祭り」などイベント開催

帯広空港からのツアー

【男女共同参画の視点】

個人の能力が平等に評価される 住みやすい職場環境

女性・母としての働く場・働き方

育児中父母の働き方

【重要項目】

意識の向上

【住民ができること】

意見交換の場を設ける 共同参画に対する講座への参加

共通項目

安心できる子育て環境

思いやりの心

心身ともに健康に・・・